



団体案内



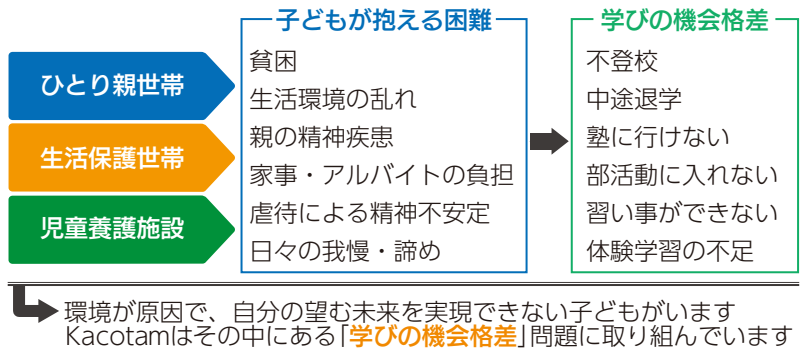
- 活動に関わる社会背景
- 私たちの取り組み
- あなたにできること
- 団体概要

活動に関わる社会背景

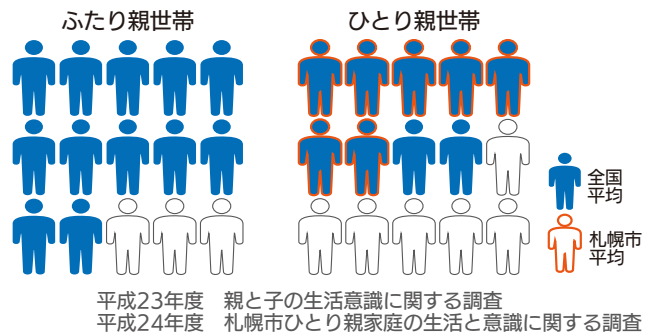
現在の日本社会では、右図で示すように、子どもが困難を抱え、機会の不平等に悩まされる傾向があります。

Kacotam（カコタム）は、学びの機会格差問題の解決を目指して活動し、子どもが自己実現に向け視野を広く持ち前向きに取り組むことを応援しています。

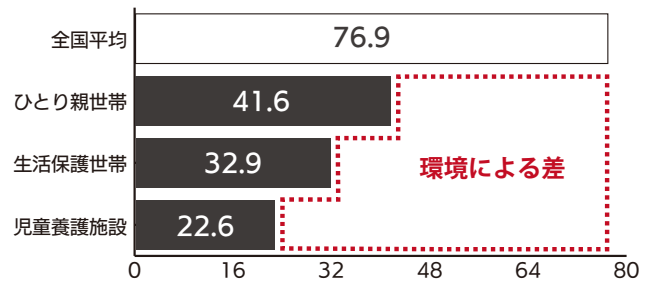
困難な環境の下では学びの機会が不足します。例えば、ひとり親世帯とふたり親世帯を比較すると、学習塾を含めた習い事の機会に格差があります。さらに、札幌市のひとり親世帯は全国のひとり親世帯よりもその機会が少ない状況です。大学等進学率に関しても、全国平均とひとり親世帯、生活保護世帯、児童養護施設の間に差が生じています。



子が塾や習い事に通う世帯の割合



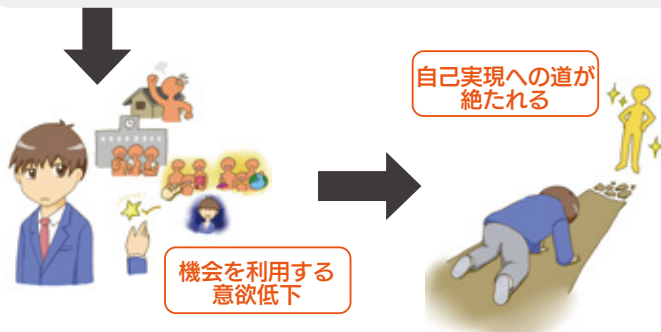
大学・短大・専修学校等進学率



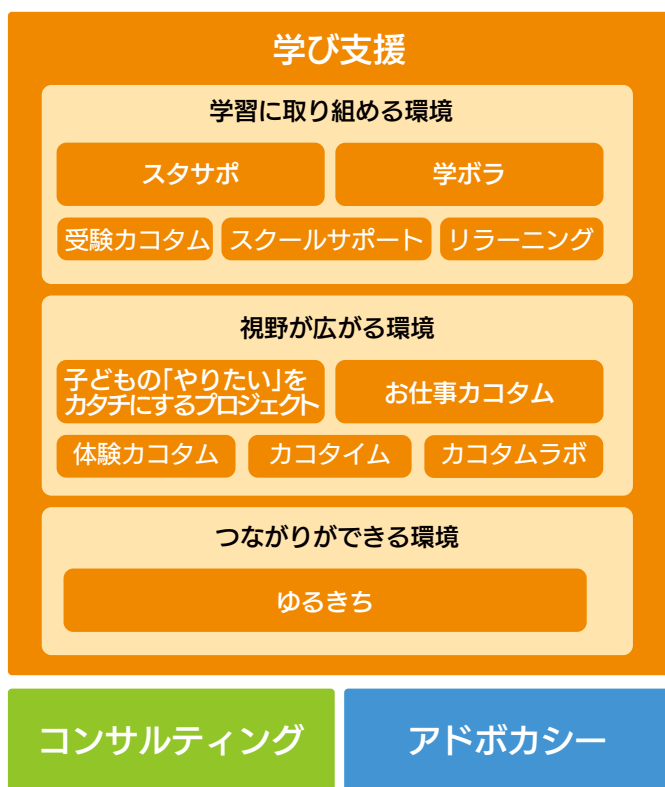
子供の貧困対策に関する大綱
北海道子どもの貧困対策推進計画（平成27年度～平成31年度）

困難を抱えた状況で不足するもの

- 安全基地**: 安定した愛着関係のある人、安心できる空間が存在しないと、関心や意欲を持ちにくい、言い出せない
- 周囲との関係**: 周囲につながる人がある人が少ないと、子どもが得られる情報、価値観、考え方などの量や幅が限られる
- 自己肯定感 自己効力感**: 自己肯定感・自己効力感が不安定だと「どうせ無理だ」と諦め、近くにある機会をつかめない



私たちの取り組み



ビジョン すべての子どもが学びの機会に出会い、自己実現に向けて挑戦できる社会

ミッション 環境に左右されない楽しい学びの場をすべての子ども・若者へ

Kacotamは、「すべての子どもが学びの機会に出会い、自己実現に向けて挑戦できる社会」を目指しています。そのために「環境に左右されない楽しい学びの場をすべての子ども・若者へ」を使命として、①学び支援事業、②アドボカシー事業、③コンサルティング事業の三つの活動を行っています。

学び支援事業では、学習に取り組める環境づくり、視野が広がる環境づくり、つながりができる環境づくりの三つの軸をもって活動しています。

アドボカシー事業では、私たちが学習支援で関わる子ども・若者の現状を社会に発信することで、地域住民の課題意識の醸成を図るとともに、行政への政策提言をしていきます。

コンサルティング事業では、他団体が子どもの学びの場をつくる際に、ノウハウを提供したり、学習支援活動の現場運営をサポートしたりしています。

拠点型学習支援 スタサポ

主にひとり親世帯・生活保護世帯など経済的理由や家庭環境等により十分な学習環境にない子どもを対象に、それぞれの子どものニーズに合わせて、原則1対1で学習をサポートする活動です。札幌市内に6拠点、札幌市外に2拠点があります。



▲エルプラザ拠点での活動の様子

札幌市内の拠点

※()内は拠点の最寄り駅

エルプラザ (JR札幌駅、地下鉄さっぽろ駅)
へるすたでい (地下鉄麻生駅)
琴似会館 (JR琴似駅)
ねっこぼっこのいえ (地下鉄月寒中央駅)
ゆるきち (地下鉄北24条駅・元町駅)
うおーく (JR篠路駅)

札幌市外の拠点

※()内は拠点所在地

L-Base (苫小牧市)
かとちゃん家 (江別市)

子どもの「やりたい」を カタチにするプロジェクト

学習支援を通じた関わりの中で、子どもの「やりたい」という声を聞いたり、潜在的に秘められた「やりたい」を見つけたりして、それらをカタチにしていくという取り組みです。



▲べんてる株式会社様 訪問の様子

これまでに実施したプロジェクト

ジェットストリームはなぜ書きやすいのか？ / orenzはなぜ折れないのか / 微生物の勉強をしたい / 巨大折り鶴を折りたい / おいしいからあげの作り方を研究したい / カメラを分解してみたい / 茶道を学びたい / ふわふわキラキラスライムを作りたい / ギターのエフェクターを作ってみたい / スマブラの大会をやりたい など

様々な体験型学習を提供する 体験カコタム

様々な連携団体や企業、ボランティアメンバーの得意分野を活かした体験学習です。

これまでに実施した企画

自然体験学習 / 料理教室 / 英会話教室 / プチ演劇をしよう / 北大祭へ行こう!! など



▲「北大祭へ行こう!!」で展示を北大生のボランティアメンバーと見てまわっているときの様子

アドボカシー

活動していくなかで見えてきた子ども・若者の現状や、当事者では発することができない声を講演会や学習会を通して、発信していきます。また、学術的にも根拠のある発信をすることができるよう、大学と協力して調査を行っています。



▲「子どもが学ぶときってどんなとき？」(2019年)パネルディスカッションの様子

これまで実施した講演会

「本人も気づかない子どもたちの困難とは」(2017年)
「10代・20代の若者が抱える困難とは」(2018年)
「子どもが学ぶときってどんなとき？」(2019)

訪問型学習支援 学ボラ

児童養護施設やファミリーホーム、母子生活支援施設等の社会的養護にかかわる児童福祉施設の子どもの対象とした学習支援を行っています。メンバーが施設に赴き、各施設のニーズに合わせて学習のサポートをしています。通年での学習支援に加え、定期テスト前の学習支援も実施しています。



▲母子生活支援施設での活動の様子

児童養護施設

興正学園
羊ヶ丘養護園
南藻園
札幌育児園
柏葉荘
ふくじゆ園 (北広島市)

地域小規模児童養護施設

ひまわり
興正チャイルドホーム(平岸)
興正チャイルドホーム(中の島)
興正チャイルドホーム(西岡)

母子生活支援施設

すずらん
しらぎく荘
もいわ荘
あいりん荘

自立援助ホーム

シーズ南平岸

児童心理治療施設

こころぼ

ファミリーホーム

翼の家
望みの家

職場訪問・職業人インタビュー お仕事カコタム

将来就きたい職業や、興味のある仕事をしている人に直接話を聞き、将来の職業や働くことについて考えるきっかけづくりを行います。



▲ウエディングドレスデザイナー編の様子

これまでに実施したお仕事カコタム

管理栄養士 / 建築士 / ウェディングドレスデザイナー / 薬剤師 / 保育士 / 販売員 / 看護師 / 医療事務 / ウェディングプランナー など

中高生のオープンスペース ゆるきち

「自分の考えや行動が大事にされるゆるい空間」として開館している、中高生のためのオープンスペースです。勉強したり、おしゃべりしたり、一人で静かに過ごしたりと、自由に過ごすことができます。



▲「ゆるきち」の外観

「ゆるきち」を基点にして、新たな学びの機会につないだり、子どもの「やりたい」をカタチにしたりするなかで、学校や家庭の他に、つながりができる環境を提供しています。

コンサルティング

他団体の学びの場づくりの検討段階から参画し、学習支援の目的や成果、プログラム内容、団体内の情報共有など学習支援活動運営の仕組みづくりをサポートします。また、Kacotamが学習支援活動の運営を担いながら、徐々に依頼団体自身で運営できるように移行型サポートも行っています。

現在運営をサポートしている団体

恵庭市のNPO法人陽だまりの家 (中高生向け学習支援)

ボランティアとして
活動に参加する



子どもの「今」に寄り添って応援したり、継続的な学習支援活動ができるように運営を支えたりするボランティアメンバーを募集しています。

学習支援、居場所づくりは、Kacotam が大事にする「子どもとの関係性」づくりの観点から、10代～30代の方をお願いしています。事務・運営については、10代（高校生不可）以上の方をお願いしています。

※具体的な募集部門、活動要件、活動までの流れなどは、ボランティア募集ページ (<https://kacotam.com/member>) をご覧ください。

活動に必要な資金を
寄付して支援する

みなさまの継続的なご支援によって、Kacotam が安定的・継続的に、子どもの学びをサポートする活動を行うことができます。法人・個人問わず、寄付にご協力いただける方を募集しています。なお、Kacotam は札幌市から認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は、税制上の優遇措置（税控除）を受けることができます。

継続寄付（カコタムメイト）で実現できること

継続寄付（カコタムメイト）で実現できること

- 1,000円/月 メンバーの交通費1人分になります
- 3,000円/月 学習支援会場を一つ借りることができます
- 5,000円/月 定員10人未満の会場を月1回運営できます
- 10,000円/月 定員10人以上の会場を月1回運営できます

寄付金振込先口座

- 【ゆうちょ銀行】二七九店 0102212（当座）
※ゆうちょ銀行間の場合、02760-7-102212
トクヒカコタム
- 【北海道銀行】札幌駅前支店 1811230（普通）
カコタム ダイヒョウ タカハシ ユウゾウ

※銀行口座自動振替・クレジットカードでの寄付、寄付金控除、その他の寄付については、寄付のご案内ページ (<https://kacotam.com/contribution>) をご覧ください。

団体情報 ※2020年1月現在

名称 認定NPO法人Kacotam
 法人設立 2012年1月
 2014年3月 4日 法人成立
 2019年4月16日 札幌市から認定NPO法人として認定される
 所在地 〒001-0035
 札幌市北区北35条西2丁目1-40 AMSビル 905号室

スタッフ 【理事長】高橋 勇造（常勤職員）
 【役員】隈元 晴子（理事）、平井 照枝（理事）、高橋 博光（監事） ※非常勤・無報酬
 【職員】常勤職員（2名）
 【ボランティア】計146名
 【アドバイザー】

里谷 彰（札幌市立陵北中学校元校長 中学校校長会元会長）
 飯田昭人（北翔大学 教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授）
 平野直己（北海道教育大学 教育学部札幌校 准教授）
 木村直子（むぎのご発達クリニック 児童神経科医）

事業 【特定非営利活動事業】
 ・学び支援事業
 ・学びの場づくりのコンサルティング事業
 ・子ども・若者の現状を広域的に周知するための活動事業

連絡先 電話 070-4799-8867（高橋）
 メール info@kacotam.com

WEB <https://kacotam.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/kacotamsince2012/>



公式マスコット「カコタン」



理事長 高橋勇造